

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



ニューヨークに暮らして

宮城県経済商工観光部国際政策課 廣澤 由貴

ことなら楽しく幸せに暮らせるように、これからも支援していききたいと思います。

日米、地方政府の 新型コロナウイルス感染症対応の違い

私は2020年4月から2022年3月まで、クレアニューヨーク事務所に勤務しました。コロナ禍のため、海外にいるのに人と対面で会えない寂しさやオンライン中心で業務を進める難しさがあった一方で、新型コロナウイルス感染者が爆発的に増えて混乱を極めたニューヨークに暮らしたことは、貴重な経験だったと思います。

当時ほとんど毎日行われ、市民の心の拠りどころになっていたニューヨーク州知事の記者会見では、日々の感染者数や病床使用率などのデータに基づいた政府の対策が発表され、日本政府の取り組みと比較できたのは良い勉強になりました。

ジャパニーズ イン ニューヨーク

また、外国人としてニューヨークで暮らした経験は、私にとってかけがえのない財産となりました。日本に帰国してから、こちらに暮らす外国人の方々の気持ちをより身近に感じられるようになったのです。

現在私は宮城県庁で、宮城県に暮らす外国人が安心して暮らせるように、さまざまな支援に取り組んでいます。具体的には、外国人向けの日本語教室や、外国人も日本人も等しく活躍できる多文化共生社会の考え方の普及啓発などを行っています。

こうした施策を検討する上で、自分が外国人として生活していたときに困ったことや悩んだ経験が役立っていると思います。

日本に来た外国人の中には、家族の仕事の都合や国際情勢の中で仕方がなく…など、さまざまな事情を持った方がいて、中には日本のことをよく知らないまま来日する方もいます。そんな彼らが、日本でも安心して、できる

比べる対象を持てる価値

日本に帰ってきてから強く思うのは、日本のことを知るためには、海外に出て外から日本を眺め、他の国や地域と比較してみないとよくわからない、ということ。日本にいと当たり前前に感じるのが、海外に出ると非常識であることがたくさんあります。海外暮らしを体験することで、その理解がより深まり腑に落ちた気がします。

クレア派遣は、業務を通じて海外の地方政府と交流し国際交流の現場を経験するだけでなく、海外で生活する経験を通して、日本や自分が暮らす地域のことをより深く理解することができた貴重な3年間でした。



アメリカの自治体制度を学ぶ研修で

プロフィール・ほか

- クレア在籍時の所属：
2019年4月～2020年3月 交流支援部経済交流課
2020年4月～2022年3月 ニューヨーク事務所
- 現所属：宮城県経済商工観光部国際政策課